

那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会

令和7年9月5日（金曜日）午後1時29分開会

出席委員（6名）

委 員 長	中 村 芳 隆	副 委 員 長	松 田 寛 人
委 員	小 島 耕 一	委 員	田 村 正 宏
委 員	齊 藤 誠 之	委 員	齋 藤 寿 一

欠席委員（なし）

出席議会事務局職員

議会事務局長	平 井 克 巳	議 事 課 長	岩 波 ひろみ
議事調査係長	長 岡 栄 治	書 記	石 田 篤 志
書 記	黒 沢 大 輔		

議事日程

1. 開 会
2. 協議事項
 - (1) 9月定例会における委員会の運営（付託予定議案、日程等）について
 - (2) その他
3. その他
4. 閉 会

開会 午後 1時29分

[「異議なし」と言う人あり]

◎開会及び開議の宣告

○中村委員長 皆さん、改めましてこんにちは。

本日は、本会議そして常任委員会と何かと忙しい中を当委員会に御参考いただきまして、ありがとうございます。

さて、本日は、当委員会の傍聴希望がございました。議会基本条例第7条によりまして、議会の会議は公開を原則としております。また、委員会条例第17条及び政令に基づき、これを認めました。

それでは、ただいまより那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会を開会いたします。

協議事項は次のとおりであります。委員各位におかれましては、円滑な進行への御協力をお願い申し上げます。



◎協議事項

○中村委員長 それでは、次第2、協議事項に入ります。

初めに、(1)9月定例会議における委員会の運営についてを議題といたします。

事務局からの説明をお願いいたします。

事務局。

○石田主査 (9月定例会議における委員会の運営について説明。)

○中村委員長 説明が終わりました。

質問、御意見はございますか。

[発言する人なし]

○中村委員長 ございませんね。ないようであれば、9月定例会議における委員会の付託議案審査の運営については、案のとおり審査を行うことで異議ございませんか。

○中村委員長 異議がないようなので、付託議案の審査日程及び審査順は、次第(案)のとおりいたします。

それでは、次に、次第(2)のその他を議題といたします。

協議事項として、皆様から何かございますか。
小島委員。

○小島委員 この間入札不調という話がありましたけれども、あのときには、全くこれからの日程、スケジュール等も全く出てこなくて、いつ入札の資料を作るのかというのが全く出でていないんですけれども、そこら辺を考えると、ある程度の時期になったら、やっぱりそのぐらいは出してもらわないと心配でいられないんじゃないかなと思うんですけれども、そこら辺、どういうふうに進めるか、ちょっと検討しておいたほうはいいんじゃないかなと思ったんです。

○中村委員長 今、小島委員から、不調の件で、新たな聞き取り調査、サウンディング調査、そして再入札をするという意向の中のスケジュールを、待っているのではなくて、いつ頃から着手して、どのぐらいをめどで、どのようなスケジュールでやるかという日程的なものは、我々の委員会で把握すべきではないかという御意見が出たんですが、それについて、皆さんどういうふうな考えをお持ちかお聞かせください。

まちづくり委員会の企画部長が参加した中で、我々の質疑応答の中に、むやみに事を遅らせていることによってまちづくり全体が遅れてしまうよというのと、あの地域がもう核になるのはやっぱり庁舎なので、庁舎が遅れることによって、ものに連動しますよということと、やっぱり物価が上がっていく時代に、いわゆる社会に入っているので、遅れれば遅れるほど5%なり1割ぐらいは上

がっていくということは目に見えて分かっていることを、なんで急がないで待っている理由、なぜ不調になったかという理由の確認と、サウンディング調査にして、結果、金額が足りなかつたとか公金が足りなかつたというのは、1か月も調査をすれば十二分に私は結論を出せるような形になつていかないと、執行部としても困るんじやないかということを考えれば、それらしき意見があつたということを我々の委員会から執行部に対しての申入れだけはしておくということで皆さんどうでしょう。御意見があつたということで、よろしいですか。

[「はい」と言う人あり]

○中村委員長 そういったものを含めて、慎重かつ、スピード感と危機感を持って対応してくれということを企画部長のほうにも申し入れてみますので、調査を兼ねてというか含めて、そういったものを、ある程度のスケジュールがあれば見通しを出していただけませんかということでよろしいですか。

齊藤委員。

○齊藤委員 あとは、時間が許せば、審査の日が22日なので、その後その他とかに聞けば、今の話を。22日まで、そこまでかけていいかどうか、どうだか分からないですけれども。

○中村委員長 22日の審査のときに、その他の欄である程度の傾向観みたいなものを設けていただければというような話をしておいて、予備知識を持ってきていただくということでよろしいですか。

[「はい」と言う人あり]

○中村委員長 突然言うと、向こうも準備してこなかつたなんてことで、後日送信というよりは、先に連絡をしておいて、実際にこのような御意見が出る可能性がありますよということで、ということでよろしいですか。

[「はい」と言う人あり]

○中村委員長 ほかにございますか。

齊藤委員。

○齊藤委員 一応僕なりの勝手な解釈なんですけれども、今そのサウンディング等々含めた全ての取組は、よそへの外注はなしに、手弁当でやっていくんですよね。

[発言する人あり]

○中村委員長 何をするにも、極論を言うと、自分でやらない限りは、お金、この間も若干雑談の中で、こんなぐらゐの設計図があるんですよ。それを積算してくださいと県協会に頼んだらそれなりに金額がかかるというわけですよ。ですから、見積りは受注して初めて自分のビジネスになっていくんだけれども、それを何回も何回も繰り返しながら設計士はやるんでしょうねけれども、お願ひすることによっての金額は生じる可能性はありますよ。ただ、これをやって、金額が合う人に見積りがあったということで落札しますよといったらば、事業で利益がでますが、見積りだけということになりますと、副委員長なんかは、建築土木の営業をやっていたことがあるんですが、結構大きい仕事だと半端じゃないですね。

今回の資料は無料で提出約束するんでしょうねけれども、今結構紙一枚ぐらいで料金を取っているからね。ですから、そういうことを考えると、膨大な量ですから、設計書を見ると。そこへ今度受ける方が詳細図を書いていくわけですけれども。

○齊藤委員 審査の話ではなくて、この間新庁舎についての質疑出して、回答をもらってあつたじゃないですか。あれ、まちづくりのほうは出さないんですか。

○石田主査 まちづくりのほうも出しているんです。ただ、前回は庁舎建設に絞った委員会として、協議内容とさせていただきましたので、まちづくりのほうは11月に一応予定しております、そこで

事前に出した質問に回答をいただこうかなと考えております。

○中村委員長 よろしいですか。

○齊藤委員 じゃあ、それも含めて。今小島委員が言ってくれた不調により令和9年10月が年度中だから令和10年の3月ぐらいまでいっちゃんうという予測がついている、庁舎が建つまで。また、それが遅れれば遅れるほど、まちづくりのほうが進んでいっちゃんう場合の整合性というの、我々は何か意識を持っていなくていいんですか。庁舎は建たないけれども、まちづくりは始まっちゃったみたいなのをどう思いますか。

○中村委員長 まちづくりは、一つはこういうふうなものを目安にするんですよということであれば、まちづくりはそれぞれの構想を練った中での、後は、どの構想だっていっても、地主さんがどうするかだから。

○齊藤委員 そうですけれども。

○中村委員長 メイン道路はいじれますけれども。25m以上のものは、そこの50m建ちませんよ。それ以外の人は、50mぐらいの建物を建てる可能性はあります。それと、商業施設に上までなった場合に、上にも建てる可能性もあるんだけれども、実際に中までは、今のところは商業施設になっていないので、庁舎を建てるのを皆さん待ってやるという方もいられるというようなうわさは聞きました。建ぺい率が変わりますから。

○齊藤委員 用途地域が……

○中村委員長 そう、変更にだんだんなっていくだけだから。庁舎を建てて初めて役所のほうでも変更可能な体制が取れるという解釈を持っているです。

○齊藤委員 順番的に同時並行的にやっていくものなのか、目星がついてからちゃんとやるべきなのかの順繰り。今からだと4年間うちらはあるんで

すけれども、任期は。その間に、どのコンセプトでいくのかというどこもやっていかないと、だから、庁舎ですったもんだしているのに、まちづくりはここまで進みましたみたいな議論をしちゃつていいのかという、その辺の整合性も頭には入れておかないと。

○中村委員長 そうですね、まちづくり委員会の中で、いろんな協議体とかいろんな意見を我々が聞かせてもらって、それで、そのときに一緒に議論して、今委員会で出たみたいなことをどのような考え方を取っていくのかとか、あとは有識者の外部の人たちは立派な考えを出していただいても、それを本当に適用していくのか、駅前を森林みたいにして、綺麗にして、天皇陛下が来たときに、歩いて向こうまで行ってくださいねということができる時代なのかとか、そういうことをみんなで議論していかないと。ですから、そういうところも、我々現実を見据えた中で、地主さんを巻き込んだまちづくりをどう構築していくかということを我々からも投げかけていっていかないと。

○齊藤委員 分かりました。

○中村委員長 25m撤廃してくれって言う人もいますよね。大体一般投資家は25mでは投資判断に迷っている人も多いわけで。歴代の市長も一般質問の中でもね。

○齊藤委員 降りた瞬間に山が見える絵が、この間出てたよね、漫画で。

あれを維持するのには、平家でずっと置かなきやだめだね。3階建てぐらいだったら、もう見えなくなっちゃう。

私も、東京から帰ってくるときに、かなり山が見えなくなるのかなと思ったら、もう駅に着いた途端に駅の壁がみんな見えなくなっちゃうね。そうすると、待合室のところに行ってみないと、あれは見えないです、山は。だからと、あそこに

降りてじっとバス停のところで待っていたら、本当に身近なところに3階建てが建っていたら、もう見えない。8階建てで規制しているわけだから、せめて8階ぐらいまでは考えていくわけですから、だから、山並みは見えませんよ、展望台でも作つてあげなきや。

[「市役所の4階に来て」と言う人あり]

○中村委員長 考えていることと現実をどうするか

ということを我々はもっと真剣にみんなで議論していくかなきやいけないんですよ。

よろしいですか。

[「はい」と言う人あり]

○中村委員長 それでは、事務局何かござりますか。

○石田主査 特にございません。



◎閉会の宣告

○中村委員長 それでは、以上をもちまして本日の那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉会 午後 1時45分

那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会
/予算常任委員会及び決算審査特別委員会（第四分科会）

令和7年9月22日（月曜日）午前9時56分開会

出席委員（6名）

委 員 長	中 村 芳 隆	副 委 員 長	松 田 寛 人
委 員	小 島 耕 一	委 員	田 村 正 宏
委 員	齊 藤 誠 之	委 員	齋 藤 寿 一

欠席委員（なし）

説明のための出席者

企 画 部 長	相 馬 智 子	那須塩原駅 周辺整備室長	佐 原 勝 美
那須塩原駅 周辺整備室長 補 佐	相 馬 福 光	那須塩原駅 周辺整備室 主 幹	岩 本 和 也
那須塩原駅 周辺整備室 副 主 幹	大 橋 喜 子	那須塩原駅 周辺整備室 副 主 幹	遠 藤 幸 宏
那須塩原駅 周 辺 整 備 室 主 査 (係長級)	小野寺 尚 人		

出席議会事務局職員

議会事務局長	平 井 克 巳	議 事 課 長	岩 波 ひろみ
議事調査係長	長 岡 栄 治	書 記	石 田 篤 志
書 記	黒 沢 大 輔		

議事日程

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 審査事項

〔企画部〕

- ・企画部長挨拶

〔那須塩原駅周辺整備室〕

決算審査特別委員会（第四分科会）

・認定第1号 令和6年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について

4. その他

5. 閉会

開会 午前 9時56分

◎開会及び開議の宣告

○中村委員長 それでは、おはようございます。

定刻前ではございますが、皆さんおそろいでございますので始めさせていただきたいと思います。

本当に暑い日が続いておりましたが、暑さ寒さも彼岸までと言われておりますように、朝夕は涼しさを感じるようになります。秋の気配を感じておるところでございます。季節の変わり目でございますので、皆様、体調管理にはくれぐれも御注意をいただきたいと思っております。

今日、ニュースでもやっておりましたが、久々の秋空ということでございまして、今日は爽やかな気持ちで会議を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

それでは、当委員会の傍聴希望がございました。当議会基本条例第7条によりまして、議会の会議は公開を原則としております。また、委員会条例第17条及び先例に基づき、これを認めます。

それでは、ただいまから9月定例会議の那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会予算常任委員会（第四分科会）及び決算審査特別委員会（第四分科会）を開会いたします。

ただいまの出席委員は6名でございます。

委員の皆様には異議なしなどの意思表示をはつきりしていただくことと明瞭な発言をしていただくようお願いをいたします。

審査の日程は、お手元に配付の次第のとおりといたします。

今定例会議におきまして、当特別委員会に付託された案件はありません。予算常任委員会付託案件のうち当分科会で審査すべき案件はありません。また、決算審査特別委員会付託案件のうち当分科会で審査すべき案件は決算認定案件1件でありま

す。決算に関する案件につきましては、分科会に切り替えて審査を行います。

委員各位におかれましては、慎重なる審査とともに円滑な進行に御協力を願いします。

◎審査事項

○中村委員長 それでは、審査事項に入ります。

これより、企画部那須塩原駅周辺整備室の審査に入ります。

初めに、企画部長から御挨拶をお願いいたします。

部長。

○相馬企画部長 (挨拶。)

○中村委員長 ありがとうございました。

那須塩原駅周辺整備室については、那須塩原駅周辺まちづくり特別委員会及び予算常任委員会に対する付託案件がありませんので、決算審査特別委員会（第四分科会）に切り替え、審査を行います。

それでは、認定第1号 令和6年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。

なお、説明に当たっては、金額の大きく変更があった項目や新規事業を中心に説明をお願いいたします。

執行部からの議案の説明を簡潔にお願いいたします。

室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 (認定第1号について説明。)

○中村委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

小島委員。

○小島委員 86ページの今説明された那須塩原駅周辺まちづくり推進事業費の中で、今、最後に話しましたけれども、あそこの4車線を2車線にしたと。そして、社会実験をしたということですけれども、評価した中身というのはどのような結論が得られたのか、お伺いいたしたいと思います。

○中村委員長 答弁を求めます。

主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 まず、あの社会実験では交通規制に関することがまず1つ。あとは、にぎわいに関することということで、2つをテーマにした社会実験を行いました。

まず、1つの交通検証というところなんですけれども、10月31日から11月2日、3日間だけで交通規制をかけたんですけれども、今現在ある4車線を3車線規制かけて、左側の山に向かい1車線のところだけ、それを一方通行できるような形で規制をかけさせていただきました。

今度、駅のほうに帰る場合は、新庁舎が平面上から見ますと右側の方向に都市計画道路がありまして、そこから迂回して交番のほうに入るような形で交通体系としての社会実験の取組を这样一个でございます。

そこの影響としては、交通の渋滞はちょうど大通りの中であったんですが、信号機の一回の中で全部処理することは可能だというものと、渋滞が起きたところは、警察署の前辺りが迂回をして交通量のほうが渋滞が結構多かったというのがあるんですが、一回の交通の信号機の処理で通過することが可能だったというところが検証としては見えた这样一个でございます。

あと、にぎわいに関しては、先ほども室長のほうからありましたように6,200人のお客様が来場したということで、かなり大人数がにぎわいのほうを創出したということが把握することができ

ました。

以上です。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 あの日は午前中まではイベントできたんですね。午後は雨のために中止になっているわけですけれども、例えば実際にあそこの駅で混むのは、どちらかといえば夕方とか朝とかそういう時間帯だと思うんですけども、朝はやらないんでそんなに問題ないと思うんですけども、夕方に関する検証というのはされているのかどうかお伺いしたいと思います。

○中村委員長 答弁を求めます。

主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 交通量調査とか、結果としましては朝の7時台が交通量が最も多くて、夕方の交通量調査も一部やっていますけれども、具体的には朝7時台の交通量が最も多いというところで、黒磯から西那須方面が午前中多くて、午後になると西那須から黒磯方面に流れるというふうな交通量の流れになっているということが判明したところでございます。

○小島委員 了解しました。

○中村委員長 ほかにございませんか。

齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 じゃ、今の関連なんですかとも、先ほどの社会実験のお話のほうなんですかとも、小島委員が言ったとおり、2日目、雨になって残念だった。私も行ってずぶぬれになりながら飲食を共にしていたんですが、要はあそこの通りの渋滞とその周辺を見た中で、テーマが、多分、市長が言っているウォーカブルとか、歩いて新庁舎までつなげるコンセプトを目指すためにやったと思うんですけども、そもそも3車線を潰したというんですか、それこそ3車線分潰さなきやいけなかつたというのはどういう理由だったんでし

よう。その1車線だけしか使えないという理由はどういうことだったのか、教えていただければと思います。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 昨年の実験の中で3車線を今回規制させていただいたということについてのお尋ねだと思うんですが、正直、今現在、今後のまちづくりにおいて何車線を緑地化するかということは決定は府内にてございませんが、最大値は3車線を緑地化するということだと思います。4車線をまるっきり、あそこの交通を止めてしまうということは交通機能が全く麻痺してしまいますので、最大値で実験をさせていただいたというところでございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 那須塩原市は、御存じのとおり車社会の地域なので、どこに利便性を置いて実験をすべきかと。今はマックスで人が歩くことを優先した最大の計算値だということで、一番最大を図っておけば、その先、増えていくのは大丈夫だと思うんですけれども、実際、歩いている人たちから何か御意見を聞いたとかは行っていないんでしょうか。

○中村委員長 答弁を求めます。

○齊藤（誠）委員 じゃ、ちょっといいですか、すみません。

例えば運転している人からのクレームとか、あるいは評価と、もう一つ、参加している人たちが歩いてみて、あれはという話。府舎まででしたっけ。府舎までの距離を歩いてみての感想というのを取らなかつたんですか。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 まず、運転手さんに関しては、交通事業者さんのほうにはアンケートを取らせていただきまして、渋滞とかそういう

ったトラブルはなかったというふうには伺っています。お客様のほうもタクシーとか乗る方に関しても、お客様の乗る量とかはそれほど変わらなかつたというふうに伺っています。そういったところの状況です。

あと、お客様に関しては、来られた方はとてもいいイベントだったという形でありまして、そのイベントに関して私たちもかなりPRのほうをさせていただいたので、そういったクレームなどは基本的にはなかつたというふうには思っているところです。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 ありがとうございます。

聞きたかったのは、要はイベントとして社会実験をしちゃっているので、非日常的な空間の下、やってしまったということと、あと11月の連休なので、どうなんだろう、紅葉の時期は過ぎたのかな、だからハイシーズンではない可能性もあるというのと、あと土日ですよね、土日ですと休日だったので、交通量が多いのは果たしてどっちかなと思ったときに、そのデータ上、休日だけでは取っただけでは本当の姿が見えないんじゃないかと思うんですが、その辺は話されましたか。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 先ほど、ちょっと主幹の岩本の方から説明させていただきますと、一般通過車両になかなかアンケート取れない状況もございましたが、ちょっと私どもの評価としましては、今回の昨年の社会実験に伴いまして、例えば市のほうに苦情の問合せがあったとかということはございませんでしたので、一定の理解は得られたのかなというふうな評価でございます。

それから、昨年度の時期の問題ですね。まず、観光のシーズンでいうと11月のちょうど第1週ですのでハイシーズンだというふうに思っております

す。特に紅葉シーズンというのは11月の第1週ぐらいが特に塩原温泉、板室も含めて、その程度の時期になってくるかと思います。10月下旬というのは、本当に山の高いほうなんですね、むしろね、という感じでございます。

それから、もう一つは、今回のこの社会実験は金曜日も社会実験の対象になってございますので、そういったことで平日のほうの評価のほうもさせていただいております。

加えまして、この社会実験以外に先ほど岩本のほうからも少し説明ありましたが、それ以外の道路交通量調査なども材料としまして、今後も検討に当たっていくというところでございます。

○齊藤（誠）委員 分かりました。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 了解いたしました。

それでは、その上の委託料のところなんですけれども、まちづくりの周辺の基本計画策定支援、これ4,800万使っているんですが、先ほど、これ3か年の継続していたんですね。上がる前の継続費ということで総額幾らで、どのような支援をいただいたのかと、生かすために今それが生かされているのかどうかも含めてお伺いいたします。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 今現在、令和6年度につきましての契約額につきましては、4,896万1,000円となっております。令和7年度は4,066万7,000円、合計しまして8,962万8,000円というふうな合計になります。

内容につきましては、交通量調査とか駅広利用の調査、庁内検討委員会の支援、民間駐車場の調査とか、まちづくり協議体の運営、整備方針などが含まれているということでございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 すみません、あと母体は誰か、

どなたか。策定支援をする。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 委託者。

○齊藤（誠）委員 はい、委託者。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 委託先につきましてはJVになっていまして、PCKK・EAU設計共同体という形でなっております。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 正式名称を。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 ごめんなさい。パシフィックコンサルタンツ株式会社と株式会社EAUの2つの会社で成り立っているところでございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 北山創造研究所さん、多分3か年ぐらい那須塩原市に入られて、こうあるべきだというビジョンも我々、見させてもらったんですけども、その北山さんの話を基に、この委託者が実験で成功することなんですねけれども、話はちゃんとあった中でその選定はなされたのかどうか、ただその社会実験のためだけにその会社さんが手を挙げて委託されて、これを実施したのか、その辺ちょっと確認させてもらいたいです。

○中村委員長 答弁を求めます。

室長。

○佐原企画部那須塩原駅周辺整備室長 今、北山創造研究所のお話が出てきましたが、御存じのように北山創造研究所につきましては、こちらのまちづくりの初期の段階から関わっていただいているところでございます。様々な地域のまちづくりというところに関わっていらっしゃるような事業者、例えばこの近くだと草津温泉などの開発といいますか、そういうところも手がけているところでございますが、一方で今回の基本設計等策定支援業務委託というところでございまして、そういう業種のところから今回募集をかけた中で、先ほ

ど申し上げましたパシフィックコンサルタント株式会社、E A Uというところが最終的な契約の相手方となつたわけでございますが、もちろん北山創造研究所で出したもの、そいつたものを基本に置きながら、加えまして昨年度末に市民と事業者で組織するまちづくり協議体なるものを組織しまして、そいつた市民、事業者の皆様の御意見なども頂戴しているところでございます。

こういったもろもろを反映して、最終的にこの策定支援で提案いただいた基本計画の案につきまして、市としてどう決定していくか、そこで最終的には議会の皆さま方の議決を頂戴していくというふうなことで考えておりまして、一貫性はあるというふうに考えてございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 いっぱい聞いちゃって申し訳ありません。今、室長のほうから御答弁ありましたまちづくりのグランドデザイン会議ということで、多分この間、答申じゃなくて、吉成座長がお出しになったと思うんですが、その会議の状況ですね、一般の方をお呼びして何回開催して、例えば出席率はどれぐらいだったのか。要はあまりいない中、開催されてしまって身内しかいなかつたとか、そういうところもちょっとお聞きしたいので、ちょっと時間あったとしても、その出席状況とその効果をちょっとお伺いしたいと思います。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 ちょっと私も詳細なところは担当に説明させますが、私の印象ですね。まず、まちづくり推進協議体と先ほど申し上げたグランドデザイン会議が組織が違うもので、すみません、まちづくり推進協議体のお話だと思うんですけども、たしか30名強の組織でございまして、トータル3回ほど会議を開催させてもらいました。それ以外に、もっと細部を具体的に意

見を交わそうということでワーキンググループを設けまして、そちらは2回ほど開催させてもらいました。

参加人数は、私は最終の1回しか出席してはございませんが、たしか過半数以上の方が来ていただきました、やはり積極的な御意見を頂戴できると、そういうふうな会議の場だったというふうに判断してございます。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 協議体のワーキンググループの開催なんですが、先ほど、すみません、2回というふうに室長のほうが伝えたんですが実際は3回を行っているところでございます。

実際にワーキンググループの中でいろいろ議論はした中だったんですが、出席者というのは大人数の方が来られなかつたというのもあります、なかなかその時間の都合もあつたりとかして少人数であったというところも、実際のところはというところでございます。

○齊藤（誠）委員 30人ずつ、ワーキンググループだけですか。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 ワーキンググループでの経過ですけれども、普通の協議体自体のワーキンググループなんですか。じゃなくて協議体で3回やっておきながら30名近く認定というか、市民の方に御依頼して、これは無償でしたっけ。無償なんで、皆さん、どこであれするか分からないですけれども、その中で出席率がどのぐらいだったかということを聞きたいです。取っていますか。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 すみません、出席率までは取っていなくて……

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 すみません、もち

ろん出席も取っていますので分かりますので、ちょっと私、先ほど最終の会議のところでは過半数の人がたしか来ていたという私の認識でございます。

それから、1点、ちょっと訂正、先ほどところがありました、ワーキングは3回やったということで訂正させてください。

ワーキングは協議体、先ほど申し上げました協議体が30名強で組織しております、その中で細分化したワーキングはまた別途に設け、もちろん同じメンバーの中から別途に設けて開催をしてございまして、いずれにしましても、先ほど申し上げましたように私の参加しました最終、今年開催したものなんですが、非常に熱心に御議論をいただきまして、その会議をもってその協議体としての意見をそこでけんけんがくがくして意見交わしたものレポートとして取りまとめをしていただきました。それを7月に入りまして市長のほうに市民、事業者の意見ですよということで御提出をいただいた、そんな流れでございます。

○中村委員長 よろしいですか。

○齊藤（誠）委員 じゃ最後。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 その参加のメンバーなんですねども、お時間のある方々ではなくて多分若い学生だったり、ちょっとそのメンバーなんですが、出席しやすい時間帯だったかどうかは別としてしっかりと、僕ちょっと報告書を見ていなかったんですけども、意見が入られるようなしつらえになっていたかどうかだけ確認させてください。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 メンバーはちょっと固有の名詞、なかなか出しづらいので、地域で様々な活躍されている方、それから地域で事業をされている方、それから今齊藤委員からも御意見

ございましたように、当時、高校生なども参加しておりました。そういったことで、まず年齢構成としては非常に若い方から一定の御高齢の方まで入っていただいているというような中でございまして、意見は比較的オープンにできたというふうに認識をしております。

それから、もう1点、昨今でございますので、オンラインでの会議の参加も含めて実施してございました。

以上でございます。

○齊藤（誠）委員 分かりました。

○中村委員長 ほかにございますか。

○小島委員 じゃ、またいいですか。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 その関連でですけれども、那須塩原駅周辺まちづくりにおけるイベントに関する共同研究とか、あと空間活用に関する共同研究、この共同研究というのはどこと共同研究して、そして今までの進捗状況になるのか、お伺いしたいと思います。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 共同研究に関してなんですが、まちづくりのイベント設置に関する共同研究というのがございまして、委託先につきましては宇都宮大学との共同研究になっております。

目的としましては、市民との協働によるまちづくりを推進することを目的としておりまして、まちづくり任意団体のN u s s U u s iという団体がいるんですが、そのN u s s U u s iから本をテーマとしたイベント「あおぞら図書館」というものを運営しております。そういったものに対して副題として提案、助言などをを行うものとしております。

実際に内容としましては、11月3日にN u s

Uusiがそのイベント「あおぞら図書館」というのを運営したわけなんですが、それに対してのイベントのしつらえに関して、間伐材を活用して、それを木れんがにして、それを椅子やテーブルなど多様な組合せによって滞留空間というのを創出することを内容としております。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 この共同研究なんですが、なぜ今、木れんがという。何か全体があって、それに対する共同研究という気がするんですけども、基本はあれですか、やっぱり前のビジョンみたいな大きなビジョンありましたけれども、それを想定して共同研究ですか、それとも全く那須塩原駅前だけの話なのか、ちょっとそこら辺、どういう想定で今共同研究しているか、お伺いしたいと思います。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 この駅広を使って、そのビジョンとかそういった計画があつてというものではないんですけども、そういった駅広でどういった滞留空間、歩行者が、人がどういった方向で集まるかということを目的に行っていらっしゃるものです。

○小島委員 分かりました。

○中村委員長 ほかにございますか。

田村委員。

○田村委員 その実証実験、今6,000人を超える方が来たということで、その6,000人の大まかで結構なんですけれども属性というか、例えば年代であったり家族であったりとか子供さんなのかということと、あと市内の方と市外の方の割合とか、あと、そこまでに来る人の移動手段、公共交通であったり自家用車であったり、駐車場の確保としてどうだったかとか、そういったのは分かりますか。

○中村委員長 答弁を求めます。

室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 昨年度、社会実験の中で、今、全ての部分かどうかというところは、ちょっと受託者のほうでアンケートを取ってございまして、ちょっと今そちらの資料でもって確認をさせていただければと思います。大変申し訳ございません。

○中村委員長 時間かかるようでしたら、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時28分

再開 午前10時29分

○中村委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 申し訳ございません。ちょっと資料が今なかなか出ないという状況でございまして、いずれにしましても昨年度、もちろん私も現場のほうに行って社会実験のほうは参加させていただきまして、ちょっと私は、3日間、そこに専従してございませんでしたので、担当した者とまず一旦、感覚といいますか、もちろん状況だけ御報告させていただきまして、この後の委員会の進行の中で資料等を発見できましたらば、また改めまして数字等を御説明させていただくというふうな形でよろしいでしょうか。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 来場者としましては、結構公共交通機関を使って市外の方たちとかも来られたりとか、県外の方たちも当然来ていただいたという部分はございます。

あと、当然、地元の方たちも皆さんが來ていただく中で、ほとんど地元の方が結構多かったなど

いう印象があります。

あとは、バスとかを使って、無料のチケットなども配布したときもありましたので、そういうものも活用していただきながら来場していただいたというところでございます。

以上です。

○中村委員長 田村委員。

○田村委員 違法駐車とかそういうのはなかったですか。

○中村委員長 主幹。

○岩本那須塩原駅周辺整備室主幹 違法駐車は、特に見受けることはなかったです。

○中村委員長 ほかにございますか。

齋藤委員。

○齋藤（寿）委員 新庁舎整備事業の2501事業のほうをちょっと聞きたいと思います。

76ページから77ページのほうに、委託料の関係なんですけれども新庁舎建設基本設計・実施設計が9,400何がしで、その3段下にその他の委託料で同じ新庁舎建設基本設計・実施設計等支援というところで2,400万なんですが、これはどういう関連で、最初のあれが設計で後段は市単独のなんですか、こら辺のをちょっと教えてください。

○中村委員長 主査。

○小野寺那須塩原駅周辺整備室主査（係長級） 基本設計・実施設計等支援業務委託なんですけれども、基本設計・実施設計も施工者選定の各段階で発注者の技術的支援をサポートする業務となっています。設計業務が円滑に進むように専門的な知見からサポートするという役割の業務となっています。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 ちょっと少し補足させてください、

支援業務でございますが、実際、実施設計をす

るに当たりまして、例えば最適な実施設計であるとか、それから実施設計の実際の履行が適正に行われているか、進捗管理であるとか、それから設計するに当たって様々なやっぱり課題とか出でますけれども、そういったものを課題解決に向けた支援などを行っていただくものでございまして、通常、市のほうで発注している通常の例えば建設工事等で、あまりこういった支援業務というのはないかと思うんですが、やはり今回のこの新庁舎建設の規模になると、なかなか職員だけでその専門的な知識とか、それから業務量も含めましてなかなか難しいところがございまして、今回支援業務を発注しているところでございます。

○齋藤（寿）委員 分かりました。

○中村委員長 ほかにございませんか。

齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 関連です。上の基本設計・実施設計は限・安井共同体ということで、多分基本設計をなさったものに対して今度は幾らかかっているかということでやっていたと思うんですけれども、その隈さんと企業体で出来上がったものをベースでやるためのアドバイスをするために、この支援業務を入れたという解釈でいいんですか。

鉄骨一本から何からするために実施設計やるわけじゃないですか。その前に隈さんたちは実施設計まで踏まえて一回完成させているんですよね。違うんですか。

○中村委員長 答弁を求めます。

主査。

○小野寺那須塩原駅周辺整備室主査（係長級） 安井・隈設計共同体と設計業務を委託しているときと並行して、基本設計・実施設計等支援業務委託というのを契約しておりますので、出来上がったものというか、設計の建物、設計図等々、設計者のほうが作成する業務に当たって、それに対して

設計が発注者の要望どおり、かつ円滑に進むよう
にできているかというのをサポートするという業
務になっていきますので、できたものに対してとい
うよりかは、進めていく中で一緒に支援していく
という形になっております。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 ちょっと今、な
かなか分かりにくいところだったと思うんですが、
設計書が出来上がって、それを支援しますよとい
うことではなくて、今日の冒頭の私の説明の中でも
ちよつと触れさせてもらったんですが、例えば
市が実際にこういう設計書をつくりたいというふ
うに発注者である市が考えているんですけれども、
それがしっかりと先ほど申し上げた設計者、つまり
安井・隈JVのほうに伝わっているかどうか、
あるいは伝えるような業務、例えば今回の新庁舎
の外観ですと、木材は使わないでパネルに木調の
ものを貼り付けたり等とか、そういうことを市
としては考えたわけですけれども、そういうものは
ちゃんとうまく伝わっているかとか、設計に
そういうものが反映されているかどうかの確認
であるとか、それから先ほど申し上げましたよう
に、設計業務そのものの進捗がしっかりとスケジ
ュールどおりできているかのスケジュール管理で
あったりとか、実際、先ほどの繰り返しになりますが、
設計を進めていく上での、ちょっと具体的に今思
いつきませんが、何らかの課題が発生した
場合に、市、先ほど管理していたものに対して、
その支援業務の受託者の日建設計のほうでアドバ
イスをいただくと、そういうものでございます
ので、出来上がったものに対して支援業務をいた
だくということではなくて、並行して進めている
というものでございます。

○中村委員長 齋藤委員。

○齊藤（誠）委員 隈さんと安井さんが設計をして

いくときに市が言いたいことを伝えるのに、この
方々を入れて同時並行にやってきたという解釈だ
と思うんですけども、そもそも入札プロポーザ
ルでその企業体は自分たちでものを行っていく際
に、この支援を入れないで市と直接話し合って、
その程度だったらできたと思うんですけども、
これ2,000万も使っているので、僕は、隈・安井
企業体がつくった設計書を逆に市がどう読み取つ
てやっていくのかが市の実力がないから、逆にそ
ういうところを支援してもらうというふうに読み
取って言っちゃった。できたものを形にするんで
すね。ゼロベースでつくっていく最中に、別な企
業の支援業務者を市の要望を入れるために入れち
ゃった場合って、それは実施設計・基本設計の委
託業者となにが違うのでしょうか。

○中村委員長 室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 今、御指摘のとお
り、ちょっと一部で聞いている説明だと、今その
ように捉えていただいたのかなというふうに思つ
ておりますが、今の齊藤委員御指摘のように必ず
しもそればかりではない。ちょっとそのほかにも
具体的にちょっと少し補足してもらいたいと思
うんですが、具体的な支援業務でこんなことをやつ
ていますよというのを少し列挙させてもらいたい
というふうに思います。

○中村委員長 副主幹。

○遠藤那須塩原駅周辺整備室副主幹 一例を挙げさ
せていただきますと、例えば本市で初めて採用と
なる免震構造でございます。免震構造ですと、や
はり先ほど御説明あった大臣認定を取る上で、ど
ういったスキームで手続を取ればとか、認定を取
る前にその前に構造評定というのを取るわけです
が、そういう経験がないものですから、大体そ
の評定を取るのにどれぐらいの期間を要するで
すとか、費用がかかるとか、例えばそれを取った上

で、じゃ大臣認定に進む。

もう一つ、今度、建築と電気、機械を設計をする上で、当然、基本設計・実施設計は安井・隈設計共同企業体のほうで進めておりますが、その成果物とかの我々としてもチェックはもちろんするところでございますが、なかなか経験のない部分がございますので、そういったところの法的なチェック、もしくは積算のチェックは、お互いダブルチェックをしながら抜け漏れがないように進めているところでございます。

また、今回計画になりますて、これだけの規模になりますので、工期の算定ですかといったところはやはり支援をいただきながら、設計者さんだけの工期設定に頼るのではなく、我々としても日建設計コンストラクション・マネジメント業者、今回の支援業者さんと工期の設定が、果たしてこれは実際現場に、我々の那須塩原市も聞かれたときに、その工期の設定が正しいのかとか、そういったチェックもいただきながら一緒にになって進めているところでございます。

やはり今回これだけの規模の庁舎となりますと、職員誰もがちょっと経験のない規模感になりますので、そういったところの援助をいただいているというところでございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 職員が実力がないとかというのは全然承知なんで、そこは全然構わないんですが、要はこれも業者に対して業者を当てているみたいな二重の委託のようなイメージを、僕、持っちゃうわけですね。先ほど言ったとおり免震構造をダブルチェックするためにといったとしても、じゃ隈・安井企業体は免震構造を設計できる会社さんではないんですか。

○中村委員長 副主幹。

○遠藤那須塩原駅周辺整備室副主幹 おっしゃると

おりでして、設計自体は安井・隈共同体が設計を行いう形になります。我々としましては、その支援業者さんのはうでは、そういった中での府内でのスケジュール管理も含めて、今回、成果物の納品のスケジュールの管理ですとか、設計自体を支援業者さんがやることはありませんので、そういった上がってきたものの、通常ですと職員がそういった免震のチェックという技術、ノウハウを我々も持っていないものですから、そういった経験のないところを援助いただいたりとか、そういった形でやっているというところでございます。あくまで設計者は隈・安井設計共同企業体になっております。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 じゃ、それは分かりました。じゃ、今免震だけ言っちゃった気がする。その免震をやるのに当たって、さっき、大臣認定を取るの大変だと言っていたんですけども、そういうものは、もともと請け負った受託者にはやっていただけなかったのか、その辺はどうなんですか。

○中村委員長 副主幹。

○遠藤那須塩原駅周辺整備室副主幹 設計自体は当初から安井・隈設計共同……

○齊藤（誠）委員 設計じゃない。

○遠藤那須塩原駅周辺整備室副主幹 安井・隈設計共同企業体が免震のところで入っております。まずは当然やっていただく業務となっております。

その支援業務としましては、一つ、例として免震のところを取り上げてしまつておりますが、そのほかの例えば寒冷性ですか、あと例えば今回の一つ、設計者とちょっと離れるところでオフィスの設計なんかもございます。オフィス環境事業ということで、また別事業者さんに発注しているところがございますが、この設計者と例えばソフト事業の部分の結びつきですか、そういったと

ころでお互いに反映するべきものがないかとか、そういった経験なども御助言いただきながら、設計に反映すべきものはお互いないかという抜け漏れをチェックしていただいているところでございます。

○中村委員長 齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 暫時休憩してください。

○中村委員長 ここで暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時42分

再開 午前10時44分

○中村委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

齊藤委員。

○齊藤（誠）委員 すみません、もともと2か年かけて基本設計・実施設計をお願いしてきて、多分これ2年目の、設計的には最終年度で9,400万だったと思うんですけれども、当初言っていた設計の単価、入札金から別にプラスはなく、そのまま執行どおりお金が使えたのかどうかだけ確認させてください。設計業務委託の単価を2か年でちゃんと消化できたのかどうか。

○中村委員長 答弁を求めます。

室長。

○佐原那須塩原駅周辺整備室長 当初予定しました、令和6年度の分につきましては、基本設計が仕上がったことによるものでございます。

それから、実施設計につきましても、今年度に入りまして、もちろん完成して、その結果として第1回目の報告ができたということでございますので、予定したものはしっかり成果物として提出されたというふうになってございます。

齊藤（誠）委員 分かりました。

すみません、以上です。

○中村委員長 ほかにございますか。

小島委員。

○小島委員 76ページ、一番下段の新庁舎整備事業手数料ですね。これでいろんな構造性能評価とかCASEですか、この手数料、どこかに頼んでいる手数料だと思うんですけども、どこに手数料を払ったのか、そこをまずはお伺いしたいと思います。

○中村委員長 主査。

○小野寺那須塩原駅周辺整備室主査（係長級） まず、76ページの手数料のところでございますけれども、免震・制振構造性能評価につきましては一般財団法人日本建築センターというところになっております。

その下、CASE評価認証というのについては株式会社ERIソリューションというところになります。

その下、建築物エネルギー消費性能適合性判定、こちらについては日本ERI株式会社となっています。

その下、構造計算適合性判定、こちらにつきましては、一般財団法人日本建築センターで、その下、発電設備電力接続検討調査、こちらについては東京電力パワーグリッド株式会社です。

最後、その下ですね、建築物エネルギー消費性能適合性判定、こちらは日本ERI株式会社となっております。

以上でございます。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 1つだけ。大体読めば分かるんですけども、このCASE評価認証というのは、これはどういう意味なのか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○中村委員長 主査。

○小野寺那須塩原駅周辺整備室主査（係長級） こちら、C A S B E Eにつきましては、建物の環境性能というのを総合的に評価して、その結果をランクづけする制度というふうになっています。建物がどれぐらい環境に優しいのかというのを評価するシステムになっております。

○中村委員長 小島委員。

○小島委員 今、環境評価性能ということだけれども、どの程度のレベルにこの市役所の庁舎というのは対応するのか、お伺いいたします。

○中村委員長 主査。

○小野寺企画部那須塩原駅周辺整備室主査（係長級） C A S B E Eの環境性能ランクにつきましては5段階ありますて、SランクからA、Bプラス、Bマイナス、Cというふうな5段階評価になっていまして、那須塩原市の新庁舎につきましては、そのうちの一番上のランクのSランクというのを設計段階で取得しております。

○小島委員 了解しました。

○中村委員長 ほかにございますか。

室長補佐。

○相馬那須塩原駅周辺整備室長補佐 すみません、先ほど田村委員より御質問いただきましたダーベスト ウォーク フェストでの来場者状況の内訳のほうをちょっとお答えさせていただければと思います。

まず来場された方ですね、合計としましては男女構成としまして、まず男性が52%、女性が42%、6%の方はちょっとお答えしたくないというところで、構成としては男性のほうが多かったとなっております。

年齢別に内訳を申しますと、10代が4%、20代が23%、30代が21%、40代が19%、60代が19%、70代以降になりますと8%、2%と、年齢が高齢になりますと少なくなりますけれども、大体20代

から50代までの方は、おおむね20%前後で御来場されているような状況でした。

次に、どういったところから来られたかというところになりますけれども、市内の方で、まず東那須野地域ですね、直近の方ですと37%の方が御来場いただきました。市内でもそれ以外のところでいうところで17%、全体で言いますと市内ですと54%の方が、半分強の方が市内から来られています。そのほか那須町ですか大田原市、ちょっと多かったのが県外のほうから来られた方17%の方が県外から来られております。

どういった手段で来られたかというところになりますけれども、まず徒歩で来られた方が23%、バスで来られた方が4%、鉄道を使ってという方が17%の方が御来場いただきました。そのほか、やっぱり一番多かったのが車、バイクの方が42%で最も多かったです。それから県外から来られたというところで、13%の方が恐らく新幹線で来られている方が多いのかなというふうになっております。

御質問のところはよろしいですか。

以上になります。

○中村委員長 質疑の途中ですが、議員間討議に入ります。

討議すべき点あるいは委員からの意見はござりますか。

[発言する人なし]

○中村委員長 ないようですので、ここで議員間討議と併せて質疑も終了したいと思いますが、ほかに質疑はございませんか。

[「ありません」と言う人あり]

○中村委員長 異議がないものと認め、質疑を終了いたします。

討論はございますか。

[「ありません」と言う人あり]

○中村委員長 ないようですので、討論を終結した
いと思いますが、異議ございませんか。

[「異議なし」と言う人あり]

○中村委員長 異議がないものと認め、討論を終結
し、これより採決いたします。

認定第1号 令和6年度那須塩原市一般会計歳
入歳出決算認定については、原案のとおり認定す
べきものとすることに異議ございませんか。

[「異議なし」と言う人あり]

○中村委員長 異議がないものと認めます。

よって、認定第1号については原案のとおり認
定すべきものと決しました。

那須塩原駅周辺整備室所管の審査事項は以上と
なります。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前10時52分

再開 午前11時27分



◎閉会の宣告

○中村委員長 以上で企画部那須塩原駅周辺整備室
の審査を終了いたします。
大変お疲れさまでした。

閉会 午前11時28分